

ただき、努力を重ねて参りました。失敗を苦とせずに前に向いて進む事の大切さ努力は、嘘をつかないし、いつかは、実を付ける時が来ます。教員に成り立ての頃、ただがむしゃらの状態でした。が、周囲の人のアドバイスを参考にし、一步二歩と前に向いて、進む事が出来、心より感謝しております。

教員成り立ての頃より青少年健全育成の活動に取り組み、礼儀作法の大切さをもち良い挨拶、勝負の厳しさ等指導し、現在も続けています。

今、思えば、多くの卒業生、教室生に何かとお世話になつてゐる状態です。教員をしていて、本当に良かったと思つています。

退職後は、教育委員として再び、教育関係に籍を置き日々活動しています。いつまで出来るかわかりませんが、次の心境で参ります。

その母校を卒業して早や四十三年。仕事やら転勤やら家庭やらで何とかと多忙で、長い間母校とは没交渉でしたが、「卒業後三十年」の学年が年度幹事となる東京支部総会の運営を担当してから、母校や故郷との交流が復活しました。五十歳前後というのは、ちょうど自分のルーツを振り返りたくなる年齢なんでしょうね。

その東京支部の支部長に就任したのが平成二十年。今年の五月の支部総会で、昭和五十七年卒業生の佐藤琢さんが支部長職を快く引き受けてくれて、バトンタッチすることができました。

親睦団体の総会とはいえ、毎年毎年たくさんの方に運営方や参加者として関わっていただき、盛況を続けることができたことには、本当に感謝・感謝です。

同窓会活動というのは、出席を続ければ続けるほど、世代や出身地域の違う人も顔見知りになり、話題がはずみ、居心地がよくなり、楽しくなります。同窓と同郷の団結の輪が広がる千鳥会に、この拙文をお読みの方も是非ご参加を！

の前に、友人たちの自転車が並ぶこともあった。春休み、「合宿」と称して、高梁市の奥にある、当時無人だつた母親の実家宅へ友人と行つた。朝、暗い時間に家を出て、矢掛から総社に向かい、高梁川を横目にひたすらペダルを踏む。笠岡よりもかなり寒い、山に囲まれた一軒家の中で何の「合宿」だつたのだろう。社会人になつて車に乗るようになり、今でも関東からの帰省にはハンドルを握る。平成の始めは山陽道も途切れ途切れでしかなかつた。それでも、高速道路の運転が楽しくて、インター チェンジの出入りを繰り返した。パズルが完成していくように高速道路の切れ目が埋まり、東京から笠岡まで一本に繋がつたのは二十年前。今は東名、名神とも複線化が進み、遠いけれど少しだけ笠岡が近くなつた。最初は一人だけのドライブも、助手席が埋まり、今は、後部座席もふたつ埋まつた。笠岡インターチェンジから国道二号線に出る途中、私の母校がここにあると子供たちに教える。

までの時間が短く感じられるようになった。かつては専ら自分の成長のために机に向かっていたが、家庭では子どもができた、職場では部下ができ、次の世代を育てる側の立場になつてきた。「ぼく」「オレ」だった一人称は「わたし」になった。自分たちが入学したのは平成七年の四月。入学前には阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件が起り、「これから日本はどうなるのだろう」という不安の中での入学だった。大学に入つてからは「失われた十年」「就職氷河期」と呼ばれる時代を経験し、「自分はちゃんと職に就けるのだろうか。」という不安の中で過ごした。九一一テロやリーマンショックのときも「世界はこれからどうなるのだろう」という不安を抱えながら過ごした。それぞれの時代に不安はあつたが友人が集まれば談笑していた。振り返つてみると、生きている限り不安はついて回るものなのだと実感する。また、周りの人や友人に支えてもらひながら、何とか生きているんだなあとも思う。これからもそうやって生きていくんんだろうと思う。世の中が移り変わつても、自分たちが笠岡高校卒業生であるということは、ずっと、変わらない。

たこと、私が笠岡高校の卒業生であることは、これからもずっと私の自慢だと思います！

笠岡高校を卒業して十年経ちました。今私は笠岡市内にある職場で働いています。毎日仕事をする中で私は笠岡市内に住まわれている方、笠岡市内で働いている方とお話しする機会が多くあります。お互いが笠岡高校出身だと分かつた瞬間、距離が一気に近くなります。仕事のチャンスも生まれますし、懐かしの母校トーケで盛り上がります。

また働いている会社には岡山県出身者が多いのですが、その中でも定期的に笠岡高校出身者で集まつて同窓会をしています。私の会社は社員数が多く、会えないう同僚も多いです。しかし役職、所属、年齢、性別も違い、きっと会うことが難しかった同僚と、笠岡高校出身という共通点で会うことが出来、ここでも懐かしの母校トーケで盛り上がりります。

私が笠岡高校で過ごした三年間で得た友人、先輩後輩、恩師との縁は自慢であり、今の私を作ってくれた大切な存在です。加えて笠岡高校卒業生として得た縁も本当に多く、これからも増えていくと思います。

いろんな縁をくれた笠岡高校は、今もこれからも私の自慢で、大切な母校です

趣味、何でもいいので、ぜひ高校生のうちに熱中できるものに出会つて下さい。高校生の私が胸を張つて「好きだ」と言つていたのは、「友人」と「音楽」でした。廊下で毎朝お腹で抱えて笑つていた思い出、心の底から大好きな時間がつたバンド活動も、この一つがあつたからこそものでした。つらさや悔しさを抱えきれなくなつた時は、「仕方ないなあ」と笑いましたが、涙をぬぐってくれる友人と、「進め」と背中を押してくれる音楽がありました。大嫌いな勉強ばかり強いていた受験期は、もちろん遊びに行くことも、ライブに行くこともできませんでしたが、今はなぜか楽しかったなあと思い返されます。それは、毎日側に友人と音楽があつたからだと思います。みなさんにも自分の好きなものを大切にしながら高校生活を過ごしてほしいと思います。好きなものが甲斐ながらも、興味のあることに積極的に挑戦して下さい。きっと、その中で大切な青春を送れると思います。そして、千鳥が、好きなものを大切にし、楽しもうに過ごす生徒でいっぱいになれば、と思います。

事務局よりお知らせ

制服がかわりました!

女子の冬服は67年振り、夏服は47年振り、男子は初めての改定となりました。



東京1名、京都3名（薬学部1名を含む）、大阪2名、九州2名、北海道2名、神戸2名、岡山13名、広島3名、鳥取3名、島根1名、山口7名、徳島6名、香川13名（医学科1名を含む）、愛媛5名、高知1名、信州1名、名古屋工業1名、京都工芸繊維1名、九州工業2名、大阪府立1名、岡山県立7名、尾道市立7名、県立広島2名、広島市立

名、龍谷3名、近畿8名
甲南1名、ノートルダム清
心女子30名、就実29名、川
崎医療福祉30名、広島修
道9名、松山3名など

◎ 大学校 合格者合計268名

防衛大学校1名など

◎ 短期大学・専修学校 合格者合計3名

合格者合計21名

※ 合格者数は過年度卒を
含むのべ数。

平成29年度入試結果

・中国高校陸上選手権 出場

◎私立大学 合格者合計114名 1名、福山市立3名など

ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業
**母校 笠岡高校の応援を
よろしくお願いします。**

- * インターネットでお申込み
「ふるさと岡山応援寄付金」で検索
→「おかやま元気コース特定型」(返礼品なし)
→送金方法を選択→必要事項を入力
(□ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業を選択し、金額を入力。
寄付先に「笠岡高校」を指定)
- * 電話でのお申込み・お問い合わせ
電話：0120-601-388
(総務部税務課) 通話無料
ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業
寄付先「笠岡高校」を指定してください。

インターネットに学校情報、同窓会情報を載せております。ご利用ください。(事務局) <http://www.kasaoka.okayama-c.ed.jp/kasaoka.htm>